

学校給食食材の放射性物質の測定検査の結果について（第17回）

検査は株式会社同位体研究所に依頼し、検査手法は放射性ヨウ素（I-131）と放射性セシウム（Cs-134、137）を判別して測定する核種検査としました。

検査の結果、茨城県のさつまいもについては、セシウムが検出されましたが、食品衛生法の放射性セシウムの基準値を大幅に下回っています。

茨城県産のさつまいもは使用を控え、11月5日の中学校のさつまいもポタージュは千葉県産を使用しました。

1. 測定日 10月31日
2. 検査機関 株式会社同位体研究所
3. 検査結果

品目	産地	放射性物質の濃度 (Bq/kg)				
		ヨウ素 (I-131)		セシウム (Cs-134)		セシウム (Cs-137)
		実測値	基準値	実測値	基準値	実測値
10月23日 飲用牛乳	群馬県太田市 (東毛酪農業)	ND (<1.0)	50	ND (<0.9)	50	ND (<1.0)
10月30日 飲用牛乳	群馬県太田市 (東毛酪農業)	ND (<0.8)	50	ND (<0.8)	50	ND (<1.0)
煮干し	千葉県	ND (<0.8)	100	ND (<0.8)	100	ND (<1.0)
さつまいも	千葉県	ND (<0.8)	100	ND (<0.8)	100	ND (<1.0)
さつまいも	茨城県	ND (<0.7)	100	0.9 (0.6)	100	1.1 (0.7)

※括弧内の数値は定量下限値で、NDは定量下限値にて不検出を意味します。